

2014年度 第1四半期決算補足資料

2014年7月31日
株式会社UACJ



1. 2014年度第1四半期業績

2. トピックス

1. 2014年度第1四半期業績

第1四半期の業績は順調に推移：経常利益63億円

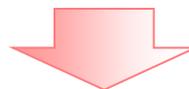
■ 販売面は概ね好調

- ・ 消費税増税の影響は、当初想定通り限定的
- ・ 国内景気は回復基調にあり、またアジア、米国など海外景気は堅調
- ・ LNG船向け厚板も予定通り好調

今後の受注増加に備えて、供給責任を果たすため設備増強を決定

■ 2014年度統合効果累計35億円 / 年の達成に向け、諸施策を着実に推進中

■ 電力・燃料単価の上昇は、当面の課題



第2四半期累計期間の業績予想を上方修正

経常利益	当初予想	85億円	今回修正	100億円
------	------	------	------	-------

下期の業況はまだ不透明なため、年間業績予想は修正せず

2014年度第1四半期業績



(単位:億円)

	2014年度1Q (A)	2014年度2Q累計予想 (B)	進捗度 (A/B)
連結売上高	1,404	2,750	51%
連結営業利益	66	110	60%
連結経常利益	63	85	74%
連結当期純利益	37	30	123%

2014年3月期決算発表時(2014年5月9日)の予想値

2014年度第1四半期 アルミ板 品種別売上数量



(単位:千ト)

品 種	2014年度1Q	2014年度2Q累計修正予想
缶材	153	319
箔地	13	26
IT	8	14
自動車	16	32
厚板	11	21
その他一般材	46	84
計	247	497
	(国内市場向け 136) (海外市場向け 111)	(国内市場向け 270) (海外市場向け 227)

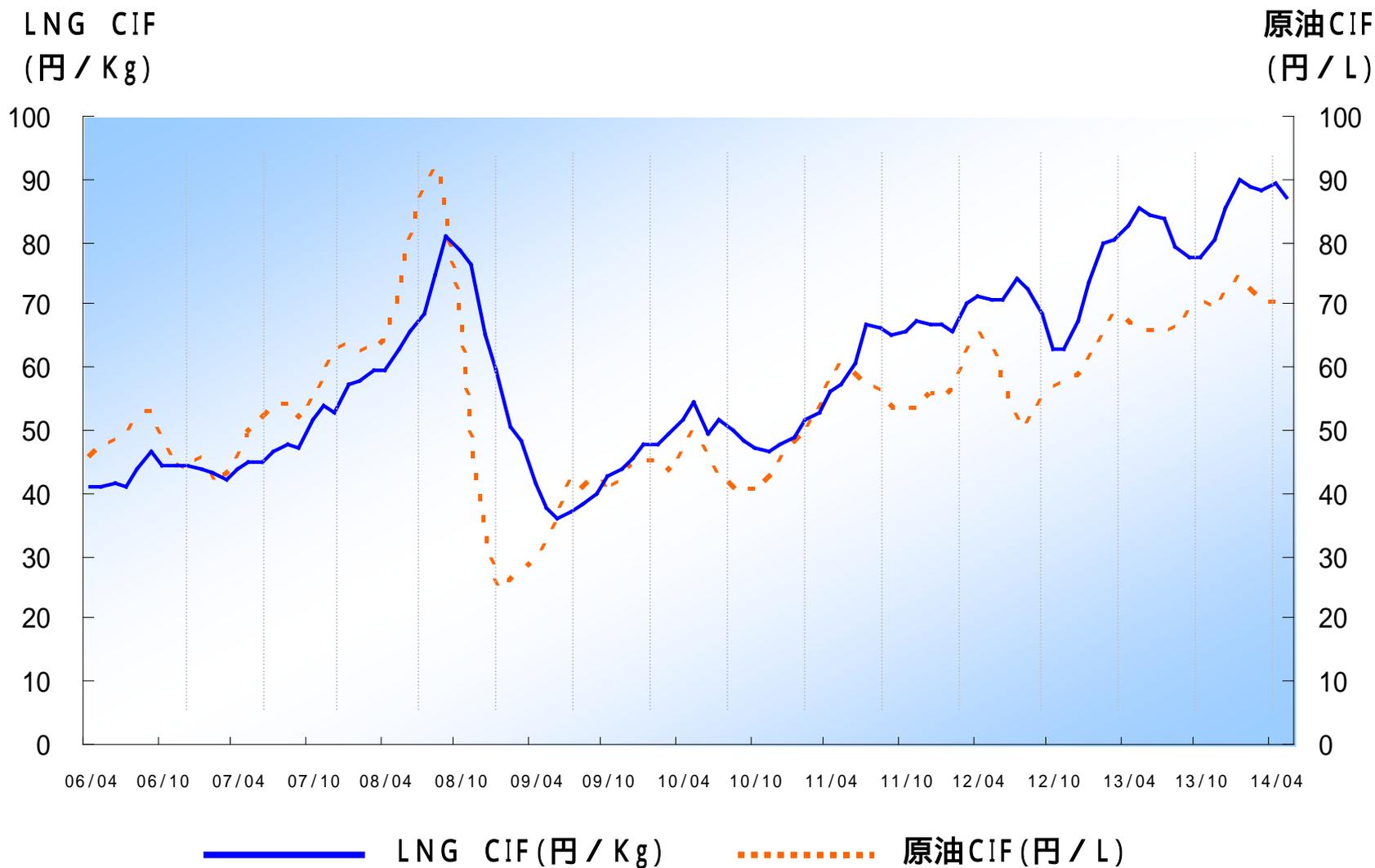
2015年3月期第1四半期決算発表時(2014年7月31日)の予想値

2014年度第2四半期累計業績修正予想

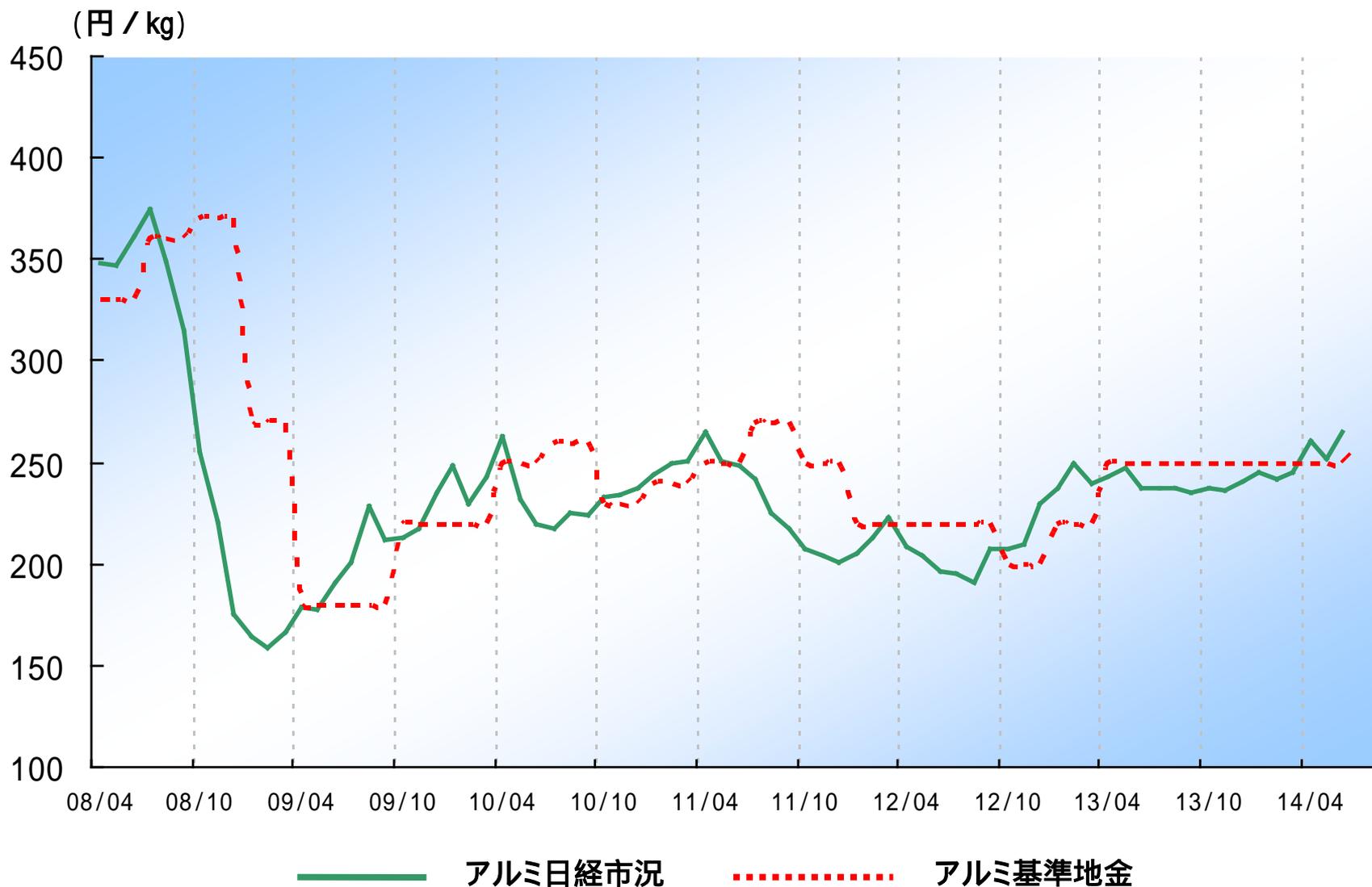
(単位:億円)

	2014年度2Q累計修正予想
連結売上高	2,800
連結営業利益	120
連結経常利益	100
連結当期純利益	50

2015年度3月期第1四半期決算発表時(2014年7月31日)の予想値



アルミ地金日経平均・アルミ基準地金



	2014/3末	2014/6末
自己資本 (億円)	1,555	1,538
自己資本比率 (%)	25.6	24.5
有利子負債 (億円)	2,563	2,751
D/Eレシオ (倍)	1.65	1.79

2. トピックス

米国における自動車パネル用アルミニウム材事業を共同で開始

- 自動車パネルのアルミ化が本格的に進んでいる
米国において、自動車パネル用アルミニウム材の供給に関する事業をConstellium社と行うことを決定。
7月には着工セレモニー（鍬入れ式）を実施。
- 投資額1.5億米ドルでケンタッキー州に、仕上げ連続熱処理ラインおよび表面処理ラインを新規設置予定。
- 冷間圧延コイルをTri-Arrows Aluminum Inc.のLogan工場と、Constellium社 Neuf-Brisach工場（フランス）より供給。
- 2016年第1四半期に生産開始し、生産能力10万トン／年の予定。

UACJ (Thailand) Co., Ltd. ラヨン製造所順調に建設中

- 高品質とコスト競争力を両立するアルミニウム板製造のアジアにおける基幹工場。
- 2015年度の第2期操業(鋳造工程からの一貫生産)開始に向け、建設も順調に推進中。



現在の工場全景



冷間圧延機



第2期操業に向けて順調に建設中

主要品種	地域	業界動向等	トレンド
缶材	国内	少子高齢化、若年齢層のビール離れ等により、国内ビール系飲料の需要は減少傾向だが、コーヒー用アルミ缶の増加等により、前年に比べ増加している。	→
	海外	新興国の景気減速等により、昨年度は需要の伸びが鈍化した。今年は増加している。	→
箔地	国内	コンデンサー箔は回復が続く。また、電池材は、車載用中心に好調。円安等により、輸入箔の増加に歯止めがかかった。	→
	海外	新興国では生活水準の上昇とともに、箔需要(特に日用品用)は堅調に伸びている。今後もこの傾向が続く。	→
IT・電機	共通	昨年度はPC需要の減少をうけたアルミ材の在庫調整により大幅減となったが、在庫調整が完了し、今年は増加している。	→
自動車	国内	消費税アップ前の駆け込み需要の反動は想定より少なく、輸出増やアルミ化車種の増により、前年比増で推移している。中長期的には日本での自動車生産は横ばい、または微減であるが、燃費向上のため、自動車パネルのアルミ化は今年も進展している。	→
	海外	中国を始め新興国の自動車生産は堅調に伸びている。米国も景気に支えられ増加している。	→
厚板	共通	スマートフォン、タブレット需要増を背景に、半導体液晶製造装置の設備投資も増大している。日本半導体液晶製造装置協会によれば、2013年度が+19.3%であった高いレベルを2014年度も+0.6%と維持される見込み。 LNG船用厚板は、2017年から米国シェールガスの対日輸出を開始する予定。日本企業が液化契約している大型プロジェクト3件が事業開始。新規建造LNG船も30-40隻必要とされる。	→

ご参考

(単位:億円)

	2013年度1Q (旧両社合算ベース) (A)	2014年度1Q (B)	増減 (B) - (A)
連結売上高	1,330	1,404	74
連結営業利益	73	66	8
連結経常利益	67	63	4
連結当期純利益	12	37	25

	2013年度1Q (旧両社合算ベース) (A)		2014年度1Q (B)		増減 (B) - (A)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
アルミ圧延品	1,054	75	1,109	71	55	4
伸銅品	121	4	133	5	12	0
加工品・関連事業	338	8	401	9	63	1
(調整額)	183	14	239	18	56	4
合計	1,330	73	1,404	66	74	8

2013年度1Qは、決算短信上の業績数値ではなく旧両社合算ベース*での業績数値等を記載しております

* 旧両社合算ベース... 旧古河スカイと旧住友軽金属工業の合算(TAAHは持分法適用会社から連結子会社に単純組替)

(単位:千円)

品 種	2013年度1Q (旧両社合算ベース) (A)	2014年度1Q (B)	増 減 (B) - (A)
缶 材	161	153	8
箔 地	12	13	1
IT	4	8	4
自動車	17	16	1
厚 板	8	11	3
その他一般材	38	46	8
計	240	247	7
	国内市場向け 130 海外市場向け 110	国内市場向け 136 海外市場向け 111	6 1

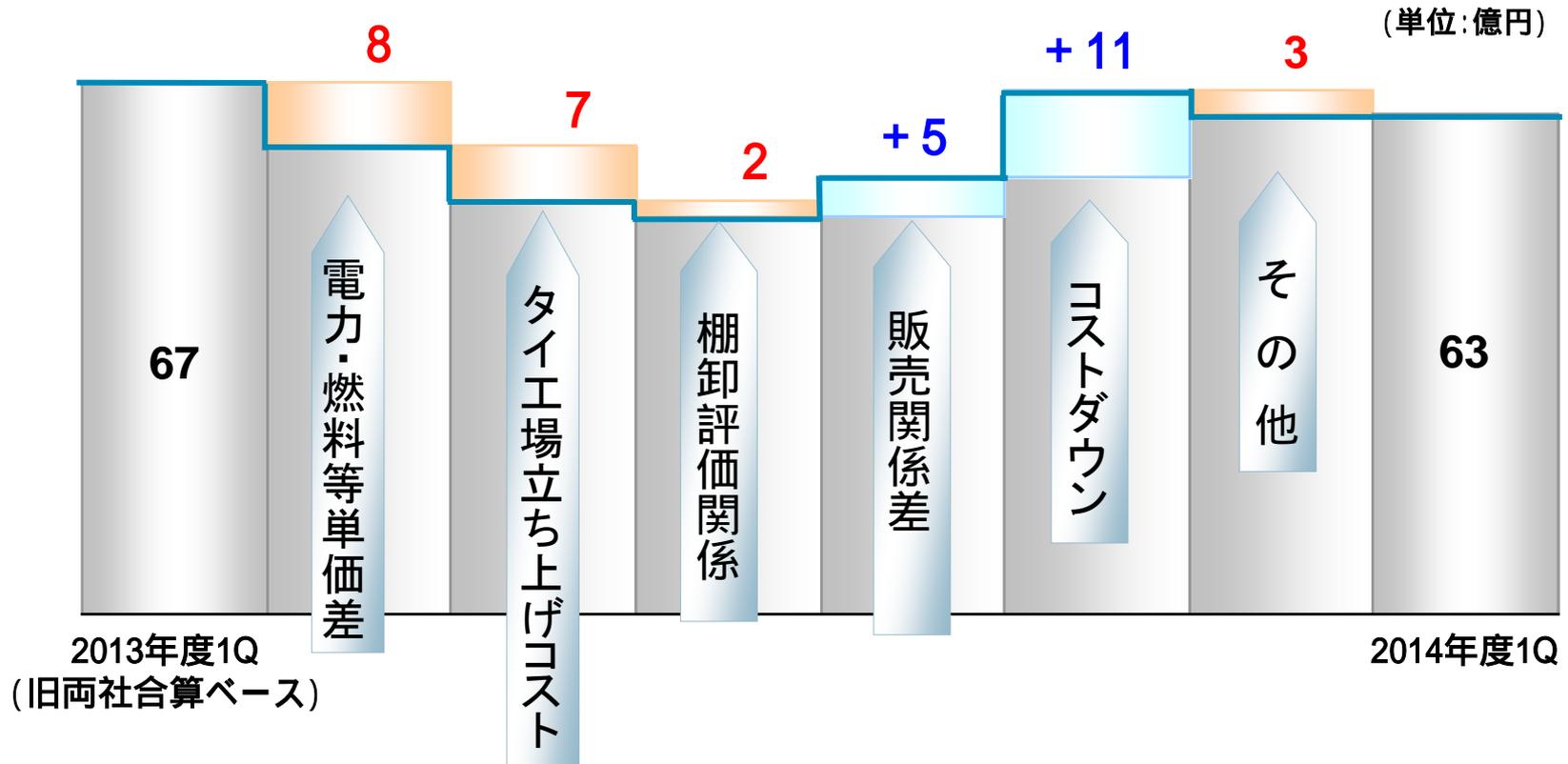
2013年度1Qは、決算短信上の業績数値ではなく旧両社合算ベース*での業績数値等を記載しております

* 旧両社合算ベース... 旧古河スカイと旧住友軽金属工業の合算(TAAHは持分法適用会社から連結子会社に単純組替)

67億円 (2013年度1Q 旧両社合算ベース)

63億円 (2014年度1Q)

統合効果差 7億円を含む



将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは今後様々な要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おき下さい。また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社UACJに帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本資料ならびにIR関係の問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

広報IR部 TEL:03-6202-2654 FAX:03-6202-2021

URL:<http://www.uacj.co.jp>

(東証1部 コード番号:5741)